



教員紹介

領域(医学部組織)
消化器内科学

専門分野キーワード

肝臓病学



教員氏名	加川 建弘(かがわ たてひろ)
取得学位	医学博士
現在の身分	教授
専門分野	消化器病学、肝臓病学、細胞生物学
現在の研究課題	胆汁うっ滞の病態解明と治療法の開発、肝疾患の病態解明と治療法の開発、薬物性肝障害の病態解明
所属学会	日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本消化器内視鏡学会、日本門脈圧亢進症学会、米国肝臓学会、米国生理学会

研究内容

私たちが食事をすると、食事中の脂肪や脂溶性ビタミンを吸収するために、肝臓で作られた胆汁が十二指腸に分泌されます。胆汁の主要構成成分である胆汁酸は回腸末端部で再吸収され、再び肝臓にもどって再利用されます(腸肝循環)。このような生体の営みはどのように調節されているか、これまで良くわかっていませんでした。近年、胆汁酸の分泌、吸収に関するトランスポーターや細胞の中で胆汁酸の存在を感じて作動する受容体が次々に明らかにされ、胆汁分泌は脂肪や脂溶性ビタミンの吸収だけではなく、広くコレステロール代謝、糖代謝、基礎代謝などに関与していることがわかつてきました。我々の研究室ではこのような胆汁の生体内における役割をさらに明らかにすることを目標にしています。また、薬を服用すると胆汁うっ滞という黄疸を発症する人がいます。同じ薬を服用しても黄疸がでる人とでない人では何が違うのでしょうか。我々は胆汁分泌に関する蛋白の遺伝子に何らかの違いがあるのではないかと考え、研究を進めています。興味のある人は是非我々の研究室に参加してください。

主要論文:

1. Kagawa T, Adachi Y, Hashimoto N, Mitsui H, Ohashi T, Yoneda M, Hasegawa I, Hirose S, Tsuruya K, Anzai K, Mine T. Loss of organic anion transporting polypeptide 1B3 function causes marked delay in indocyanine green clearance without any clinical symptoms. *Hepatology* 2017;65(3):1065–1068.
2. Kagawa T. Hepatobiliary transport of bile acids. In: Tazuma S, Takikawa H, eds. *Bile Acids in Gastroenterology Basic and Clinical*. Tokyo: Springer, 2017:9–25.
3. Kagawa T, et al. No Contribution of the ABCB11 p.444A Polymorphism in Japanese Patients with Drug-Induced Cholestasis. *Drug Metab Dispos* 2015;43(5):691–7.
4. Kagawa T, et al. Recessive inheritance of population-specific intronic LINE-1 insertion causes a Rotor syndrome phenotype. *Hum Mutat* 2015;36(3):327–32.
5. Kagawa T, Orii R, Hirose S, Arase Y, Shiraishi K, Mizutani A, Tsukamoto H, Mine T. Ursodeoxycholic acid stabilizes the bile salt export pump in the apical membrane in MDCK II cells. *J Gastroenterol* 2014;49(5):890–9.